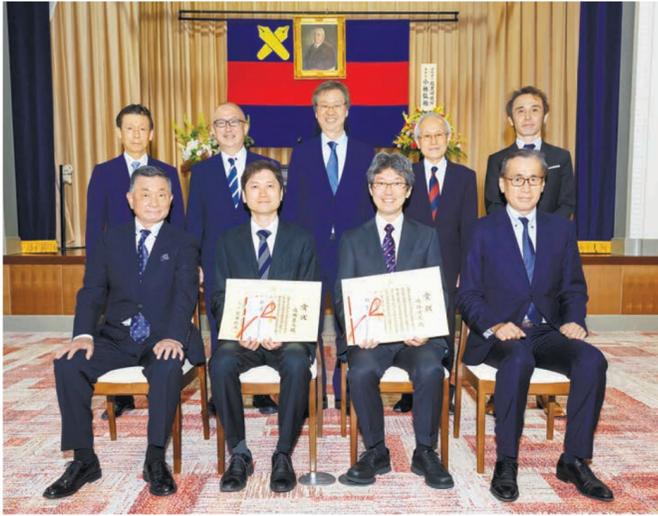


第93回北里記念式開催



受賞者との記念撮影 撮影：岸剛史

【受賞者講演】

北里賞 皮膚科学教室 准教授 **高橋 勇人(79回)**
 「皮膚自己免疫疾患のT細胞による病態形成とその制御機構の解明」

北島賞 小児科学教室 教授 **鳴海 覚志(80回)**
 「先天性内分泌疾患の分子基盤の解明」

6月12日に、信濃町キャンパス北里講堂において第93回北里記念式が行われました。医学部ならびに三四会(医学部同窓会)では、初代医学部長・病院院長である北里柴三郎博士の6月13日のご命日に際し、その偉業を長く記念すべく、北里記念式を行ってまいりました。

北里柴三郎博士は明治25年に福澤先生の援助により芝公園に伝染病研究所を創設しました。福澤先生の志に報いるため、初代医学部長として就任し、現在の医学部および大学病院の礎を築きました。

記念式では、伊藤公平塾長(欠席のため北川雄光常任理事が代読)、金井隆典医学部長、武田純は賞状、自治体、企業、慶應義塾から学部長や慶應義塾関係者など、多くのご参加をいただきました。

ご来賓の皆様からの温かいご祝辞に続き、施設の内覧会を開催し、新施設の大変ご好評をいただきました。伊藤公平塾長からは「未来のコメント」をいただき、その一環としてCRIK信濃町を整備できればと期待を込めたコメントをいただきました。また金井隆典学部長からは「これまで医学部はさまざまなシナリオを作ってきたが、埋もれていたものがたくさんあったと思う。今後の産業化に向けた期待のコメントを頂きました。」

慶應義塾大学は近年、オープンイノベーション、特にスタートアップ創出に力を入れていま



5月29日に開所式を開催



塾長はじめ多くの関係者とグランドオープンを祝福

このたび、慶應義塾大学一橋&インキュベーション医学部大学病院(インキュベーションセンター) Shinanomachi Campus、なつランドオープンセンター(信濃町リサーチ・イノベーション・センター) Research and Innovation, CRIC(信濃町)を開所式を行いました。開所式に

は賞状、自治体、企業、慶應義塾から学部長や慶應義塾関係者など、多くのご参加をいただきました。

ご来賓の皆様からの温かいご祝辞に続き、施設の内覧会を開催し、新施設の大変ご好評をいただきました。伊藤公平塾長からは「未来のコメント」をいただき、その一環としてCRIK信濃町を整備できればと期待を込めたコメントをいただきました。また金井隆典学部長からは「これまで医学部はさまざまなシナリオを作ってきたが、埋もれていたものがたくさんあったと思う。今後の産業化に向けた期待のコメントを頂きました。」

慶應義塾大学は近年、オープンイノベーション、特にスタートアップ創出に力を入れていま



貸貸オフィス



デスクルーム



データアクセスルーム



広々としたラウンジ

【三四会名簿発行とアンケートご協力をお願いします】

本年11月に会員名簿を発行する予定です。同窓会ホームページ(https://www.sanshikai.jp)のマイページから各自、勤務先と自宅の情報更新をお願いします。これまでにマイページにログインされていない方には、郵送で従来の名簿アンケートを5月下旬にお送りしました。訂正のある方は赤字で修正の上、ご返送ください。6月30日の登録データをもとに発行作業を進めますので、皆様の御協力をお願いします。

電話：03-5363-3735 (同窓会事務局)
 Email: info@sanshikai.jp

三四会会長 武田 純三
 名簿委員長 宮川 義隆

現在、大河ドラマで紫式部や清少納言などの女流作家が注目されている。彼女たちは、当時の社会において文字を通して自己表現を行った先駆者であり、現代の我々が直面する課題を映し出している。特に、未婚の状態での介入や注力している。これは現代医療の重要なテーマである。昨今、慶應義塾大学予防医療センターは麻布台キャンパスに移転し、革新的な検査項目を導入し、国際的にも注目されるパーソナルドクター医療を目指している。特に、未婚の状態での介入や注力している。これは現代医療の重要なテーマである。昨今、慶應義塾大学予防医療センターは麻布台キャンパスに移転し、革新的な検査項目を導入し、国際的にも注目されるパーソナルドクター医療を目指している。

春の叙勲

旭日双光章
高橋 茂雄(54回)
 (保健衛生功労)
 (社)埼玉県医師会代議員会議長
 昭和産婦人科院長

瑞宝中綬章
丸山 勝也(49回)
 (保健衛生功労)
 元(独)国立病院機構久里浜アルコールセンター院長
 元 日本アルコール関連問題学会理事長

瑞宝中綬章
外口 崇(56回)
 (厚生労働行政事務功労)
 元 厚生労働省保険局長

この度、春の叙勲において厚生労働行政事務功労により瑞宝中綬章を授けられました。去り10年後、なを振り返り、本間光夫先生(27回)、安倍達夫先生(34回)を始め、これまでに瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、令和6年春の叙勲において、瑞宝中綬章を授けられました。瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、令和6年春の叙勲において、瑞宝中綬章を授けられました。瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、令和6年春の叙勲において、瑞宝中綬章を授けられました。瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、春の叙勲において厚生労働行政事務功労により瑞宝中綬章を授けられました。去り10年後、なを振り返り、本間光夫先生(27回)、安倍達夫先生(34回)を始め、これまでに瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、春の叙勲において厚生労働行政事務功労により瑞宝中綬章を授けられました。去り10年後、なを振り返り、本間光夫先生(27回)、安倍達夫先生(34回)を始め、これまでに瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、春の叙勲において厚生労働行政事務功労により瑞宝中綬章を授けられました。去り10年後、なを振り返り、本間光夫先生(27回)、安倍達夫先生(34回)を始め、これまでに瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、春の叙勲において厚生労働行政事務功労により瑞宝中綬章を授けられました。去り10年後、なを振り返り、本間光夫先生(27回)、安倍達夫先生(34回)を始め、これまでに瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

この度、春の叙勲において厚生労働行政事務功労により瑞宝中綬章を授けられました。去り10年後、なを振り返り、本間光夫先生(27回)、安倍達夫先生(34回)を始め、これまでに瑞宝中綬章を授けられた方々を思い出し、感謝の意を述べさせていただきます。

行政は未来を創る仕事であり、錯綜する利害関係や多様な価値観の衝突を調整しながら10年後、20年後を見据えた政策を練り上げていくことや、突発する新型感染症や災害対応まで幅広い範囲で、やりがいのある仕事です。1993年のWHO事務局長再選選挙や、2004年の米田農務省と内科の研究者から医技官に転じたのは、アルコールの輸入再開交渉など、懐かしい思い出となりつつあります。厚生労働省在職中、いくつかは臨床現場レベルの医療政策に興味を持ち、医師会での受賞ですが、医師会

慶應義塾 医学部新聞

発行所 三四会医学部新聞編集室
 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
 電話(3535)1211 内線64996
 会員については会費を二
 会に購読料が含まれ純三
 発行人 武田 純三
 毎月 1回20日発行

三四会ホームページ

信濃町駅前・各種診療

慶應義塾大学病院

外来診療時間 午前8時30分~午後12時
 午後6時~午後8時(夜間急患)
 電話 03-5363-3735(受付係)

信濃町駅前・各種診療

慶應義塾大学病院

外来診療時間 午前8時30分~午後12時
 午後6時~午後8時(夜間急患)
 電話 03-5363-3735(受付係)

機構久里浜アルコール症 59年に久里浜病院の初 センターと改称しまし た。そして当時全国で 代臨床研究部長に推薦さ れ、その後のアルコール 臨床研究の推進、国立 療養所初のWHOのアル コール関連問題研究、研 究協力センターの指定を 受けることができました。 今回の受賞は、三四会に おいては、経営改革を遂 げ、長年の課題であっ た重度アルコール依存症 入院医療管理加算を確保 するためのサテライト外来 診療に算定することを可 能とし、これにより今ま 京医療センターと横浜医 療センターとを開設、ま た当院の高額医療機器 (CT、MRI)の病診 連携による利用促進、同 時に慶応病院の放射線部 での遠隔医療診断契約に よる診断効率の向上を推 進しました。 平成15年院長を拝命し ました。さらなる経営改 善のために、平成16年 に、消化器内科に入院 機構の中核を担うことと 策として、政策医療(ア ルコール、精神)を打ち 出し、病院を国立病院